

婦人科がんに対する放射線療法後の有害事象に関する調査研究のおしらせ

福井大学医学部附属病院産科婦人科では、倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、対象に該当すると思われる方でデータの使用を拒否される場合は、下記問い合わせ先へご連絡下さい。

平成27年 7月 福井大学医学部附属病院産科婦人科

【研究課題名】婦人科がんに対する放射線療法後の有害事象の後方視的検討

【研究期間】承認日から平成32年3月31日まで

【研究の意義・目的】子宮頸癌を始めとした婦人科がんに対して、術後補助または根治的な放射線療法が広く行われています。しかし、高い治療効果をもつ反面、放射線療法後に生じる骨髄抑制(白血球減少や貧血)、腸炎、膀胱炎などの有害事象(副作用)が問題となります。本研究では、当院での有害事象の発生状況やリスク要因を分析することで、有害事象の予測マーカーを見出し、適切な治療方法計画を目的としています。

【研究方法】対象となる患者さんは、当院で過去に放射線治療を行った婦人科がん患者さんと、今後に放射線治療を行う婦人科がん患者さんです。対象となる患者さんのカルテなどの診療情報から、年齢、身長、体重、合併症、放射線治療の内容、有害事象の内容などを調べて、どういった要因が有害事象と関連があるか分析します。

【個人情報の取り扱い】収集した情報は匿名化して、個人を特定できるような情報が外部に漏れることはありません。また、研究結果は後日学会発表や学術誌などで公表する場合がありますが、その場合も個人のプライバシーを厳重に保護します。また、本研究は既に受けられた治療の結果から検証するものですので、費用負担はかかりません。

【研究期間後の試料等の取り扱い】研究に関するデータは、研究期間終了後も平成42年3月31日まで保管させていただきます。将来、データを新たな研究に用いる場合には、改めて研究計画書を提出し、倫理審査委員会の承認を受けます。

【研究組織】

研究責任者:産科婦人科 教授 吉田 好雄

研究分担者:産科婦人科 医員 杉田 元気、准教授 黒川 哲司

【本研究に関する問合せ先】本研究に関してご質問がある場合は下記までご連絡ください。

○問合せの窓口

福井大学医学部 産科婦人科医局 担当 杉田 元気

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

TEL:0776-61-8392 FAX:0776-61-8117 e-mail:obgyn@med.u-fukui.ac.jp

○苦情の窓口

福井大学 総務部 松岡キャンパス総務室 学術支援係

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

電話:0776-61-8614 Fax:0776-61-8153